

解答

一 1 航海 2 敬礼 3 君臨 4 貿易 5 養蚕 6 迷宮 7 操〔る〕
8 専〔ら〕 9 株 10 裁〔く〕

二

耳
エウ

作者になんの興味もない人が読んでも、珍しいイギリスの食べ物や食習慣のことについては、きっとおもしろいと思ってくれるにちがいないということ。

三 1 人生が、世界が終わりになる
2 電車の窓を小雨
3 工業
4 電車の窓を小雨
5 人生が、世界が終わりになる
6 木琴演奏は重要な課題だったのに、興味が持てず、授業中は演奏しているふりをしてやり過ぎし、想像の世界に明け暮れていたこと。
7 木琴を購入して練習し、明日の発表までにマスターすること。
8 アイ

「この文章」という視点

三

一 1 人生が、世界が終わりになる
2 電車の窓を小雨
3 工業
4 電車の窓を小雨
5 人生が、世界が終わりになる
6 木琴演奏は重要な課題だったのに、興味が持てず、授業中は演奏しているふりをしてやり過ぎし、想像の世界に明け暮れていたこと。
7 木琴を購入して練習し、明日の発表までにマスターすること。
8 アイ

解説

同じ段落の中で、「『うれしかった』と書いても、それは主觀を述べたに過ぎず、読者は、いったいなにがどううれしかったのかわからぬ。」「『この人はなんだかしらないけれど、ばかにうれしかったんだねえ』という程度のそけない感想しか、読者は持つことができません。」と述べられています。

二 1 木琴のエピソードの最初のほうで「木琴演奏が重要な課題として定められていた。こちらはそんなものに興味がないので、あたかも演奏している『ふり』をしてやり過ぎしていた。その代わりに：想像に明け暮れていたのだった」とあり、このことを両親に説明しなければならないことに大きな決意が必要だったことがわかります。

二

問6

木琴のエピソードの最初のほうで「木琴演奏が重要な課題として定められていた。こちらはそんなものに興味がないので、あたかも演奏している『ふり』をしてやり過ぎしていた。その代わりに：想像に明け暮れていたのだった」とあり、このことを両親に説明しなければならないことに大きな決意が必要だったことがわかります。

解説

木琴演奏は重要な課題だったのに、興味が持てず、授業中は演奏しているふりをしてやり過ぎし、想像の世界に明け暮れていたこと。
木琴を購入して練習し、明日の発表までにマスターすること。

親の愛情

問8

同じ段落の中で、「『うれしかった』と書いても、それは主觀を述べたに過ぎず、読者は、いったいなにがどううれしかったのかわからぬ。」「『この人はなんだかしらないけれど、ばかにうれしかったんだねえ』という程度のそけない感想しか、読者は持つことができません。」と述べられています。

問6

木琴のエピソードの最初のほうで「木琴演奏が重要な課題として定められていた。こちらはそんなものに興味がないので、あたかも演奏している『ふり』をしてやり過ぎしていた。その代わりに：想像に明け暮れていたのだった」とあり、このことを両親に説明しなければならないことに大きな決意が必要だったことがわかります。